



建屋外観

高回転・高速用帯鋸歯型目立機と 小型カメラ搭載によるマイクロ目立機の導入計画

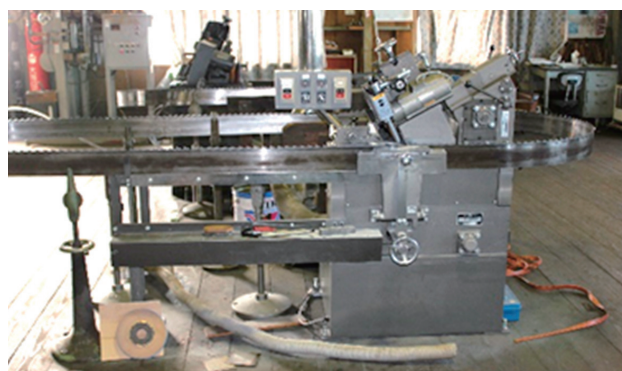


実施した事業の概要と成果

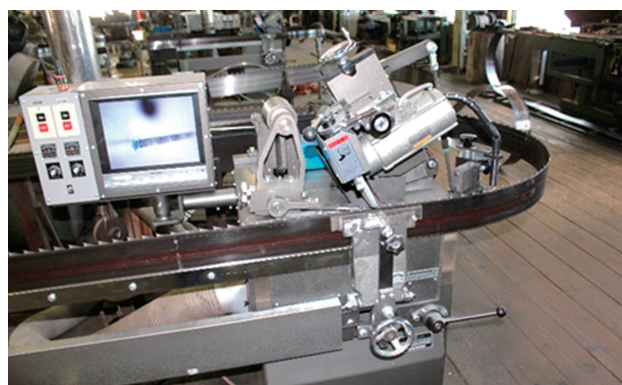
県内各製材工場に求められる製材製品の増産を支えるため、高回転・高速用の帯鋸歯型による切削を実現させる目立機械と、品質の高度化を達成させる小型カメラ搭載のマイクロ目立機械の導入を実施した。

導入機は高回転・高速用KV型歯形を形成できる目立機である。高速用歯形KVはオガ屑の掃けが良く製材時の直進性が増し、鋸割れが減少し製材効率が向上する。また連続使用時間が長く、消費電力の低減効果もあることから、KV型歯形帯鋸を各製材工場に提案・普及促進している。

本機導入により工場内目立機械の高度化と効率化・加工研磨時間短縮に繋がり、一定の評価を得た。



導入設備：目立機械



導入設備：小型カメラ搭載マイクロ目立機械

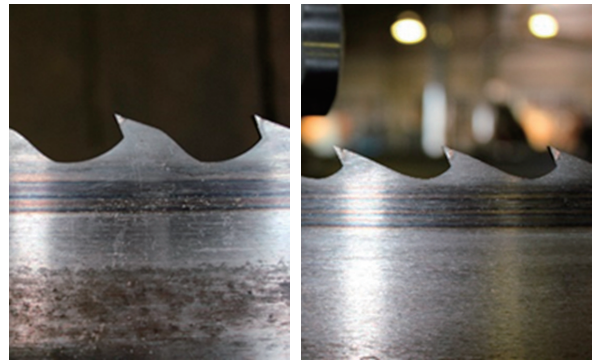


製品開発や課題解決の具体的取組み

目立機設備導入による効果

- ① 目立挽き肌装置が本体と一体で安定した研磨ができる。
- ② 砥石形成のドレッサー装置があり、単石ダイヤで恒に一定の形成ができる。
- ③ 歯型形成が恒に一定である。
- ④ 直結インバータ方式により砥石の回転速度が調整可能。
- ⑤ モーター直結で振動が無くムラがない。
- ⑥ 研磨鋸送りもインバータにより変速が可能。
- ⑦ 歯型切り替えハンドルにより歯形形成も、高回転KV型、背盛型、ストレート型と変更可能。
- ⑧ 研磨状態を小型カメラからのモニターで歯先のエッジを確認できる。
- ⑨ ピッチ間隔は固定ハンドルにより変更可能。

今後の増産要請に対応可能と判断する。本機加工帯鋸に対する、出荷先工場での切削効果を検証していく。



KV型歯形（左）とストレート型歯形

事業者	徳島製材団地協同組合
代表者	代表理事 多田 雅信
設立年月	昭和44年12月
所在地等	〒770-8001 徳島県徳島市津田海岸町5番13号 TEL：088-662-2326 FAX：088-662-5741 E-mail：office@toku-seizai.or.jp http://www.toku-seizai.or.jp/
事業区分	革新的サービス
出資金額	47,910万円
従業員数	7人
業 種	製材業

徳島製材団地協同組合 ⑤

代表理事

多田 雅信



本事業取組みへのきっかけと目的

国の成長戦略により2020年までに木材自給率50%以上にすることが示され、徳島県においても県産材素材生産を10年で倍増させる戦略と併せ、「とくしま木材利用指針」条例として施行され、県内における各製材工場の木材製品の増産を迫られている。当組合もその要求に応える体制づくりが必要であった。

今後の展望と活動予定

これまで取引のなかった県西部、県南部における高速用歯形並びにマイクロ研磨仕上げ帯鋸の需要拡大を図る。機械メーカー、県内機械店や関係機関の協力のもと情報の収集を行い、販路拡大に努める。